

# Julabo Case Study

## 27

### JULABO PRESTO® A40

5リットルのガラス反応容器を用いて、  
+200°Cから+100°Cまでの  
冷却運転を実施。



#### 目的

5L ガラス反応容器で JULABO PRESTO®A40 の  
冷却試験を実施しました。A40 は 2.0 m の金属チューブ 2 本  
を介して反応容器に接続されています。  
A40 は+200°Cから+100°Cの範囲でプログラムされています。

#### テスト条件

製品型式	JULABO Presto A40
冷却能力	+20 ° C 1.2 kW 0 ° C 0.9 kW -20 ° C 0.6 kW
ヒーター能力	2.7 kW
帯域制限	なし
吐出圧	0.40 bar
循環液	JULABO Thermal HL40
反応容器	5L ガラス製反応容器 (Rettberg社製) 内部を JULABO Thermal HL40 5L で満たす
温度制御	外部制御(ICC)

#### 環境

室温	+20°C
湿度	45%
電圧	230 V / 50 H z



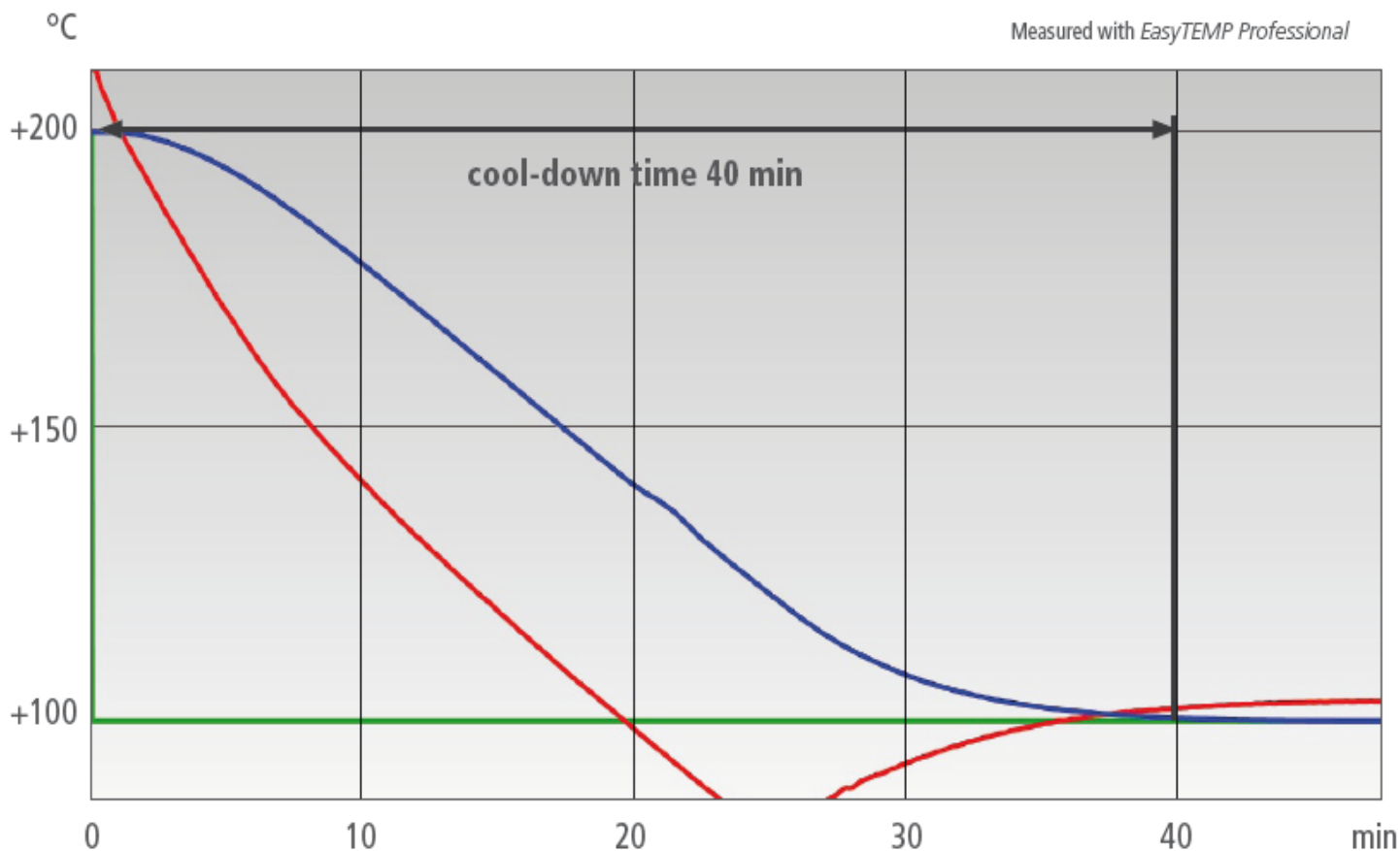
#### テスト結果

次ページのグラフを参照してください。  
A40 は冷却制御において+200°Cから+100°Cまでオーバーシュート  
することなく 40 分で到達しました。

#### 特徴

PTFE コーティングされた  
Pt100 センサーが使用可能  
です。





- Setpoint                      設定温度
- Temperature in reactor's interior                      反応容器内の温度
- Temperature in reactor's jacket                      ジャケット温度

### 特徴

吐出圧力を任意の数値にて制御します。プレストでは希望する圧力にて設定することが可能です。



### 特徴

プレストではイーサネットインターフェースを使ってすべての操作へアクセスする機能を有しています。

